



千葉市社会福祉協議会からの

おしらせ

令和3年7月7日〔第4号〕
千葉市社会福祉協議会
地域福祉ボランティアセンター
千葉市中央区千葉寺町 1208-2
電話：043-209-8869

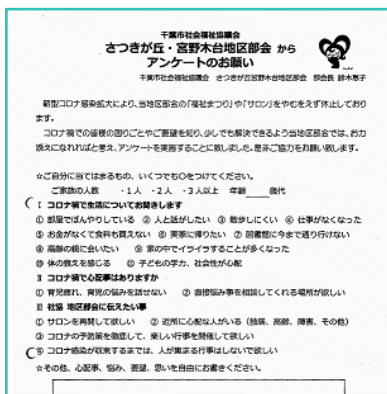
地域の方々の孤立を防ぐための見守り活動やサロン活動、地区部会関係者をはじめとする地域ボランティアのつながりなど、今まで皆さまが築き上げてきた様々なつながりの維持が困難になってきています。しかしながら、このような中でもつながりを保ち続ける方法がいくつかあります。

コロナ禍における地区部会の活動の紹介

花見川区 アンケート調査の実施（さつきが丘・宮野木台地区部会）

さつきが丘・宮野木台地区部会では、地区部会活動のほとんどを休止している中、地域の方々のお困り事やご要望を把握して、よりお役に立てる福祉活動に結び付けるために、コロナ禍における困り事や要望などについてのアンケート調査を令和2年度に実施いたしました。

アンケート用紙を地域に配布・配置し、集会所やスーパーマーケット、あんしんケアセンター、公民館などに設置したポスト経由で回収しました。アンケート結果の一部をご紹介します。



1 コロナ禍での生活についてお聞きします

体の衰えを感じる(83件) 人と話したい(44件)
家の中でイライラすることが多くなった(30件) 等

2 コロナ禍で心配事がありますか

直接悩み事を相談してくれる場所が欲しい(13件)
育児疲れ、育児の悩みが話せない(2件)

3 自由記述欄より抜粋

外出できず体力・認知機能が心配 地域の組織がまとまってほしい
この時期に地震や台風がきたら怖い 集まって話したい 等



中央区 屋外での子育てサロンの開催（西千葉地区部会）

西千葉地区部会では、令和2年7月から子育てサロンぴよんぴよんクラブを、近隣の公園に場所を移して開催しています。おおむね15名程度のお子さんと保護者の方が毎回参加して交流しています。

保健師や看護師の訪問の他、ハロウィンの宝探しや手作りの凧あげなど、季節に応じた様々なイベントを企画して参加者に喜ばれています。



▲ みんなで一緒に手遊びを楽しみました

千城台東南・金親地区部会の障害者福祉委員会では、障害をお持ちの方の当事者団体であるひまわりの会と協力して、会員と委員会メンバーの声を集めて寄せ書きを作成いたしました。

作成にあたっては委員会の方々がひまわりの会の皆さんに近況などを聞き取りました。その他、マスクの型紙や絵葉書も寄せられ、皆さんの癒しになり大好評でした。

みんな元気ですくひまわりの会>

今年は新型コロナウイルス感染症の流行のため例年のような活動ができませんでした。そこで皆さんの声を寄せ書きにしました。思いつくまま、過去のバス旅行の行き先も載せました。抜けてる所もあるかもしれませんが、また、この場を借りて、バス旅行の下見の運転などで、お楽しみ、楽しんでほしい、多くの方にお世話になってることを、感謝と報告いたします。

料理教室では、ヘルスメイトの方々の協力のもとに行っています。私の最近の日常といえば、朝の公園に行き、散歩やラジオ体操、ご近所さんとのちよとた会話、明るく日差しを身体に受け(曇りや雨もあります)、木々の葉のゆれに風を感じ、自然と触れ合うのが楽しみです。お楽しみ(南・委員) 原則手元に届いた順に掲載しました。

バスでここに行ったね☆

藤浦かんばの宿、ポートタワーと花の美術館、江戸東京博物館、葛西臨海公園、成田ホテル/バイキング、NHK見学、佐原葛藤園、羽田空港、東京電力とばんやで食事、成田空港、浅草、ホキ美術館、築地散策、鏡子屏風♪浦とウオッシュ、藤浦ビックひなまつり、道の駅めぐり、船橋サッポロビール、菫浦花摘み、谷津バラ園、祭又帝釈天 などなど モノレールに乗って動物公園も

▲ 散歩やピアノ、編み物など近況は様々



▲ 受付の前には検温を忘れずに



▲ お弁当は一人一人にお渡しします

幸町一丁目地区部会では、令和2年10月から12月にかけて、お弁当をテイクアウトする形式でのふれあい食事サービスを実施しました。

受付では非接触型体温計による検温を実施し、現金の受け取りは紙箱を介して行い、弁当受け渡しの待機列は密にならないように足元に目安のカラーテープを張るなど、新型コロナウイルスの感染予防のために様々な工夫がされていました。

テイクアウト会場ではシニアリーダー体操が併せて開催されており、換気のために出入口を開放した室内にて、参加者同士間隔をとって体を動かし、健康づくりに励んでいました。

数カ月ぶりにお顔を合わせてのふれあい食事サービスの再開に、参加者・主催者ともにマスク越しに明るい笑顔が伺えました。

なお、現在は新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、幸町一丁目地区部会のふれあい食事サービスは一時中止となっております。

白井地区部会ではコロナ禍により地域活動の場を公民館から自治会単位の小規模な集會に拡げていくにあたり、地域に改めて地区部会の存在や活動を知っていただくために、パンフレットを作成しました。

地区部会の構成や役割、自治会の活動との関係など、「社協とは？」をやさしく解説することを念頭に置き、地区部会役員を中心に福祉活動推進員会議にて内容を検討しました。

2,500部を作成し、白井地区で活動している各団体に配布したところ、地区部会の活動内容や、自治会と地区部会の福祉活動の関わりが理解できたとの反応がありました。

